

本書で取り上げられる

がんのひみつ69

からいくつかをご紹介します



みなさんの
がんの常識を
チェック!

- 1 日本人の2人に1人が、がんになる
- 2 日本人の3人に1人が、がんで死ぬ
- 3 日本は、世界一の長寿国、つまり、世界一のがん大国
- 4 がんのことを知らなすぎる日本人
- 6 がんはDNAが傷ついて起こる病気
- 7 がんにかかると、がん細胞に栄養を奪われて死ぬ
- 8 がんは、自分の細胞のコピーミスでできた暴走細胞
- 9 がんは、細胞の老化の一種
- 10 冷蔵庫のおかげで、胃がんが減っている
- 11 ウイルスで感染するがんもある(子宮頸がん)
- 12 食生活の欧米化で、日本のがんも欧米化した
- 13 ベジタリアンの聖人君子でもがんになる
- 14 タバコがなくなれば、男性のがんの3分の1が消滅
- 15 欧米では減っているがんの死亡が、日本では増えている
- 18 治療の可能性は、転移の有無が握っている
- 24 検診に向いているがん、検診に向いていないがん
- 29 がんの種類によって、行なう検査も違ってくる
- 30 サプリメントなどは効果なし
- 31 抗がん剤だけで完治するがんはほとんどない
- 32 がん治療は、敗者復活戦のない「一発勝負」
- 34 がん細胞はどんどんタチが悪くなる
- 36 転移したがんは、窓から出て行った鳥
- 38 告知をうけてこそ、治療法を自分で選べる
- 41 インターネットは、要注意
- 42 日本では、今でも、胃がん型の「がん治療=手術」
- 48 放射線治療途上国、ニッポン
- 51 放射線治療の専門医も技術者も、日本では少なすぎる
- 53 がんの痛みを我慢する日本人
- 54 日本人の医療用麻薬はアメリカ人の20分の1
- 55 がんの痛みはとった方が長生きする
- 58 病気の「治癒」というが、〈治〉偏重、〈癒〉軽視のニッポン
- 60 義務教育でがん教育を
- 61 結核は届け出るのに、「がん登録」の制度がない
- 63 がんの統計データは死亡診断書だけ、というお粗末
- 64 放射線治療・化学療法、緩和ケア、がん登録が、がん対策基本法の柱
- 66 がん治療を支える医療現場は、疲れ切っている
- 69 医療が崩壊し、医療費だけが高騰する最悪のシナリオ

著者: **中川恵一** (なかがわ・けいいち)

東京大学医学部付属病院 放射線科 准教授、緩和ケア診療部長。1960年東京生まれ。1985年東京大学医学部医学科卒業、同年東京大学医学部放射線医学教室入局。1989年スイス Paul Sherrer Institute に客員研究員として留学、1993年東京大学医学部放射線医学教室助手、1996年専任講師、2002年准教授。2003年東京大学医学部付属病院緩和ケア診療部長(兼任)。著書に「ビジュアル版 がんの教科書」「命と向き合う—老いと日本人とがんの壁」「自分を生ききる—日本のがん治療と死生観」(共著)「緩和医療のすすめ」「放射線とEBM」「悪化するがんの治療百科」(共著)など。

仕様:

2008年1月17日発売

定価:714円(一括50部以上は特別価格500円 送料別)
四六判変型/並製/本文168ページ

お申し込み・お問い合わせ:

〒101-0065 東京都千代田区西神田3-3-5

朝日出版社 第2編集部/担当:赤井茂樹

電話:03-3263-3324/ファクシミリ:03-3263-7471

e-mail: info2@asahipress.com

ご注文申込書

がんのひみつを

冊注文します。

定価714円(一括50部以上は特別価格500円 送料別)

お名前

ご住所

お電話番号

※一括50部以上の特別価格500円は、小社に直接お申し込みいただく場合に限りです。ご了承ください。